

要求実現のチャンス 選挙に行こう！

1月23日に招集された第220回通常国会冒頭で衆議院が解散され、1月27日公示、2月8日投開票の日程で衆議院議員総選挙が実施されることとなりました。

高市首相は、①自らが内閣総理大臣であることの是非、②自民・維新による新連立枠組みについての是非、③積極財政への転換など新たな経済政策の是非などを総選挙で国民に問うとしています。しかし、「大義は何なのか」「なぜ今なのか」も釈然とせず、物価高に苦しむ国民の生活改善を後回しにしてまで実施する必要性は感じられません。

2026年度予算案の年度内成立も困難な状況となっており、暫定予算を編成しての対応となることは避けられません。たださえ、年度末を迎え繁忙極まる職場にさらなる負担を強いるとともに、国民が必要とする公務・公共サービスが滞る懸念すらあります。

一方、私たちの働き方や労働条件は政治と直結していることから、生活改善できる大幅賃上げや増員をはじめとする公務・公共サービスの拡充など、私たちの要求を実現するチャンスでもあります。

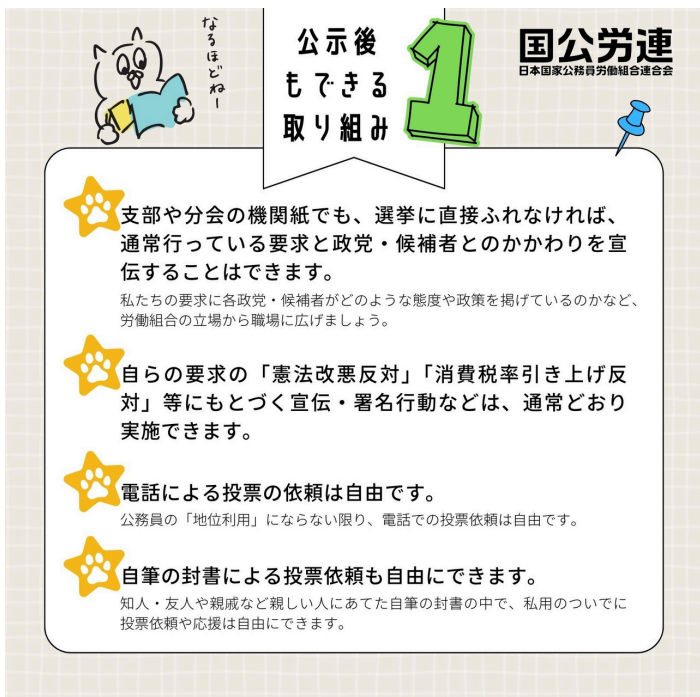
本日28日（水）から期日前投票（～2月7日（土））もできます。憲法を守りいかにすることを義務づけられている公務労働者こそ、選挙に行って国民本位の政治へ転換させましょう。



投票日
2月8日
選挙
VOTE!
国公労連
日本国家公務員労働組合連合会

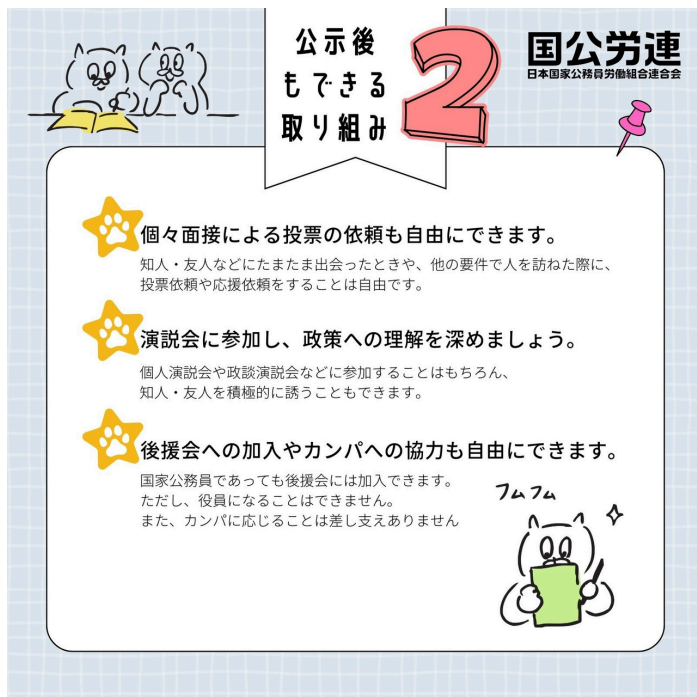


2回目 比例代表選挙
候補者の名前をかき!
政党の名前をかき!
投票のやりかた
HOW TO VOTE
国公労連
日本国家公務員労働組合連合会
期日前投票も活用しよう ※詳細は市区町村選挙にお問い合わせください。
【期日前投票期間】
1月28日（水）～2月7日（土）
午前8時30分～午後8時
※投票所によっては時間が異なります。
【場所】
市町村役場や出張所・臨時の期日前投票所
【持ち物】
投票所入場整理券（なくても投票できます）
身分証だけでも大丈夫! 毎日投票日! まずは投票場所を確認!



公示後
もできる
取り組み
1
国公労連
日本国家公務員労働組合連合会

- ★ 支部や分会の機関紙でも、選挙に直接ふれなければ、通常行っている要求と政党・候補者とのかわかりを宣伝することはできます。
私たちの要求に各政党・候補者がどのような態度や政策を掲げているのかなど、労働組合の立場から職場に広げましょう。
- ★ 自らの要求の「憲法改悪反対」「消費税率引き上げ反対」等にもとづく宣伝・署名行動などは、通常どおり実施できます。
- ★ 電話による投票の依頼は自由です。
公務員の「地位利用」にならない限り、電話での投票依頼は自由です。
- ★ 自筆の封書による投票依頼も自由にできます。
知人・友人や親戚など親しい人にあてた自筆の封書の中で、私用のついでに投票依頼や応援は自由にできます。



公示後
もできる
取り組み
2
国公労連
日本国家公務員労働組合連合会

- ★ 個々面接による投票の依頼も自由にできます。
知人・友人などにたまたま出会ったときや、他の要件で人を訪ねた際に、投票依頼や応援依頼をすることは自由です。
- ★ 演説会に参加し、政策への理解を深めましょう。
個人演説会や政談演説会などに参加することはもちろん、知人・友人を積極的に誘うこともできます。
- ★ 後援会への加入やカンパへの協力も自由にできます。
国家公務員であっても後援会には加入できます。ただし、役員になることはできません。また、カンパに応じることは差し支えありません。

今後もバナーを作成する予定です
QRコードから保存してご活用ください。



国公労連
日本国家公務員労働組合連合会